

令和5年度第4回 佐倉警察署協議会

1 開催日

令和6年3月15日（金曜日）

2 開催場所

佐倉警察署

3 出席者

・協議会委員11人 ・警察署17人

4 業務報告

（1）管内の犯罪発生状況等について

（2）管内の交通事故発生状況について

（3）令和5年「県民の期待と信頼に応える強い警察」の取組結果について

5 警察署からの諮問事項

（諮問）SNSを通じた警察広報について

（答申）なし。

6 委員からの要望・意見等

（1）【質問】

ラジオで「交通事故防止のために初心者や高齢者は、運転時ハイビームを推奨します。」と言っていたが本当か。対向車としてはハイビームをしているとまぶしくて正直迷惑であり、かえってまぶしさで事故を誘発するのではないか。免許更新時にも、ハイビームを推奨しているという話を聞いたことがないが、いつから推奨されているのか。

【回答】

ラジオ番組の具体的な内容は不明ですが、基本的に前に車がない場合、車のライトはハイビームで走行してください。ハイビームとロービームでは照射範囲が異なっており、かなり先の方まで見えるようになります。前方を横断する歩行者や自転車がかなり速く発見できます。推奨ではなく、基本はハイビームにしてくださいということは間違いありません。対向車がいる場合は、対向車の迷惑にならないようロービームにしてください。前の車が近くにいる場合は、ロービームにしてください。必ずハイビームにしてくださいということではなく、道路環境に応じた運転をしてください。

（2）【質問】

自宅に詐欺のような通知が届いたが、文面を見て気付いて阻止できた。全く見に覚えのないもので、「約半年前に購入した通販のお金を払っていないので、裁判所の何号法廷に来てください。来ないと家財を差押えします。」というものだった。今後のための予防策や同僚・若いスタッフへの注意喚起として、引っかけやすい人や、こういう悪い人たちが、こういう方をめがけて送ってくるんだよというのを教えてください。

【回答】

詐欺の犯人グループが狙っているのは高齢者が多くなっており、いわゆる名簿屋から入手した名簿をもとに、無作為に送りつけています。特定の人や年齢層は狙わない

状態で、そこで、もし引つかかるようなことがあれば、詐欺を行う手口になります。予防策として職場等であれば、従業員の皆さんで、あるいはご家庭などで共通認識を持っていただくことが大切で、高齢者はとっさの判断が難しいため、高齢者に対する呼掛け・注意喚起に力を入れているところです。

(3) 【質問】

ラインの乗っ取りで60万くらい被害にあったスタッフがいる。ラインを送った本人は気付かず、「アマゾンカードの裏のバーコードの写真撮ってを送ってください。」という内容で、これに応じて送ってしまった。こうした被害を防止するための方策はありますか。

【回答】

今のお話ですと、ライン相手のアカウントが乗っ取られている可能性が高いと思います。通常、ラインは基本的に友達から届くものと思い込んでいるところがあります。ラインや電話、メール等でお金の話は全て詐欺だと思ってください。色々な決済方法がありますので、こうした媒体でお金のやりとりや話はしないでください。

(4) 【質問】

夜間の徘徊というのは、こういう場合だと徘徊になりますというものはあるのか。コンビニの前で深夜集まっていることは徘徊にあたるのか。徘徊に定義はあるのか。

【回答】

定義としては、少年が家の外にいる状態を指します。決して、うろうろしていないといけないということではありません。親の看護の外に出て、家の外にいれば徘徊にあたります。家ではない場所にいるという認識で良いと思います。

【更問】

もし、少年を見掛けた場合、どのような取締りをするのか。

【回答】

基本的に声を掛けて「家に帰りなさい。」と指導したり、場合によっては警察官が保護者に電話連絡をしています。

(5) 【質問】

外国人の夫が、日本の運転免許を取得しようと思っているが、日本語、特に漢字が分からない。私が運転していても、夫は道路の標識が分からない。言葉が分からないことが原因による事故は発生しているか。また、こうした方が交通事故を防止する対策はあるか。

【回答】

標識に書かれている補助文や路面標示が読めないために、どちらに進んで良いか分からず事故が起きていることがあるのかという質問であれば、統計を取っているものはないため、正確な回答はできかねます。

外国の方でなくとも標識を見落としたり路面標示を見落とししたり、内容を誤解して発生している事故はあります。外国の方ですと、さらになじみがない言葉ですので、読み取りにくいことと思います。日本の免許を取得する段階で、標識はある程度理解していただく必要があり、このあたりを御理解頂き、運転免許を取得していただく必要があります。

対策面は、即答はできず、標識や表示を変えることは一つの警察署ではできないのではなく、国際化していく社会情勢の中で、今後、国をあげて展開されるのを待つしかないというのが現在できる回答です。

(6)【質問】

中志津地区の住民は、約2800世帯、人口約1万人。団地内は高齢化が目立ち、空き家も約200戸ある。現区長からの報告によると、令和6年1月、中志津で3軒の侵入盗難被害が発生したと聞いた。住民同士は、お互いに注意喚起をしてはいるものの、このような被害が発生したが、何か良い対策はあるか。

自治会としては、各区の活動として青色灯車両と歩行によるパトロールを行っており、青色灯車両によるパトロールの際はスピーカーも付ける予定である。

【回答】

空き巣等の侵入窃盗事件対策の大前提はドアや窓の鍵をかけるということです。今回の侵入窃盗事件はきちんと鍵がかけられていたようですが、被害に遭うお宅の多くは、そもそも鍵が掛けられていないことが多いです。その他としては、窓を防犯ガラスに交換するとか防犯フィルムを貼るといった窓対策も効果的です。中志津の3件の事件は、いずれも窓ガラスが割られて鍵が開けられて被害に遭っています。

防犯ガラスや防犯フィルムは絶対に割られないというものではありませんが、窓を割るまでに長時間を要するため、犯人が周りを気にして、手をつけるのを嫌がるという効果や、途中で諦めるといった効果が期待できます。

それ以外にも補助錠や防犯ライトの設置も効果が期待できます。

さきほど、お話のありました青パトを利用しての巡回やスピーカーを付けての巡回は犯人に対し、効果的だと思いますので、ぜひ積極的な対策をお願いします。

【更問】

現在、佐倉署管内では、中志津地区が電話 de 詐欺防止対策のモデル地域に指定されている。固定電話には録音機能を設置しており、有効だと感じた。要望ですが、今後自治会活動で防犯セミナーを行う予定だが講師の派遣はお願いできるか。また、駐在所の警察官に地域への交流機会を増やしてほしい。

【回答】

講師の派遣につきまして、御要望があれば、積極的に行います。

(7)【質問】

地域の集まりで、坂戸地区で区民館の室外機が盗まれたとの話があった。また、別の区民館でも発生していると聞いた。このような窃盗犯は増えているのか。過去に自転車を盗られたり、タイヤ、車、バイクを自宅付近に置き去りされることがある。盗んだは良いが処分に困って放置したのか、利益にならず放置された等について、警察がどれくらい把握しているのか。

【回答】

室外機盗難については実際に増加しており、目的は金属の換金で増加傾向にあります。バイク等が放置されていかれることは、窃盗品か否か不明ですが、実際に少年らが乗り捨てていくこともあります。

(8)【意見】

強い警察の中で、幹部の女性が少ないが、女性の幹部率は平均どれくらいか。そして佐倉警察署の女性幹部の比率は、県警の平均と比較してどれくらいに位置するのか。また、女性を多く登用するためにどんな努力をしているのか。

【回答】

現在、千葉県警では、女性警察官の数を全体の20パーセントを目標にしています。女性幹部の割合等、数字的なものは確認し、次回の協議会で改めて報告させていただきます。女性幹部の登用については、出産・育児休暇などを理由に昇任試験を辞退する職員が多い中、これを改善するため育児休暇取得中の職員にも優遇される措置となり、昇任試験が受けやすい環境を用意するよう試験制度を変えています。

- 7 答申等に対する措置結果
なし。